

ほうでえ～

ありゃ～のう

周防大島町の話題

社会を明るくする運動



▲椎木町長へメッセージを伝達する奥原法城会長（大島保護区保護司会）

7月1日、「社会を明るくする運動」として、大島地区保護司と大島地区更生保護女性会が、町内をパレードし街頭宣伝を行うとともに、各庁舎で法務大臣からのメッセージを伝達しました。

社会を明るくする運動は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生への理解を深める全国的な運動です。本年は更生保護制度が施行されて60周年を迎え、運動の強化月間となっている7月には、各地でキャンペーンが行われました。

周防大島アロハ大使を認定しました



▲椎木町長からアロハ大使フラハーツへ認定書が授与されました



7月18日、グリーンステイながうらにおいて「周防大島アロハ大使」の認定式が行われ、椎木町長より認定書が授与されました。これは、瀬戸内のハワイ「周防大島」を盛り上げる観光大使として、またアロハスピリッツあふれるフラダンサーとしての活動を目的に、(社)周防大島観光協会が募集したもので、チームとして5チーム、個人として2名の方の認定を行いました。

当日は、(社)周防大島観光協会が昨年夏から始めた、毎週土曜日にフラダンスを披露する「サタフラ（サタデーフラ）」の開幕日でもあり、認定式の後、各チームは夏の夕べに、見事なフラダンスを披露しました。

サタフラは町内の5会場（グリーンステイながうら・サンシャインサザンセト・竜崎温泉・道の駅サザンセトとうわ・八幡生涯学習のむら…一部は不定期開催）で、8月29日まで開催されます。